

カルスト通信

も り

森林のたより

Karst
correspondence
2003.9
vol.8



カルスト森林組合

第6回 通常総代会開催

平成十五年 七月二十九日
サンワーカ美祢

雨の降る7月29日午後1時30分より第6回通常総代会をサンワーカ美祢(美祢労働者総合福祉センター)で開催しました。

総代定数 200名
総代現在数 189名
本人出席 117名
委任出席 3名
書面議決者 21名
出席者合計 141名

(出席率 70%)で

本総代会は過半数以上の出席がありました。議長には、山陽町の寺田一成総代が選任され議事に入り、提出議案は全て異議なく原案通り承認・決定され、午後二時五七分に閉会しました。



第七号議案
平成15年度における余裕金預け入れ先金融機関の決定について
付帯議決

総代会の議決事項中、行政庁に提出する書類が、当該行政庁の指示に基づき補正変更を要する場合は、議決の主旨に反しない範囲において字句の修正等の補正変更を理事会に一任する。



提出議案
第一号議案
平成14年度事業報告書・貸借対照表、損益計算書
及び剩余金処分案の承認について
第二号議案
平成15年度事業計画の承認について
第三号議案
平成15年度役員報酬の決定について
第四号議案
平成15年度ににおける借入金の最高限度額決定について
第五号議案
平成15年度における貸付金の利率並びに一組合員
に対する貸付金額の最高限度額の決定について
第六号議案
平成15年度造林補助金事務取扱手数料率の決定
について

I 事業報告書 総括事項

我が国経済は、デフレ傾向のもとで極めて深刻な状況が続き、窮地に立たれ景気回復の兆しも見えないままであります。林業界にとっても長期にわたる木材価格の下落一進に変化はなく、依然として明確な展望は描げず、停滞を余儀なくされています。

森林組合においても、収益力が弱まり競争が激化する状況のなかで、森林基本法の改正による森林整備方針及び森林・林業・木材産業政策等の転換により、苦しい状況を打開し様々な改革を断行する時機が来ております。

当森林組合としても、地域林業振興の中核的担い手として、経営基盤の強化、今年度から始まつた森林整備地域活動支援交付金制度の推進、地域材の販売態勢に向けて経営努力、林業労働力の育成確保、緊急雇用に関する各種事業などに積極的に取り組んできました。健全経営を念頭に役員、職員そして34



受け製品にして納入しました。また、利用部門においては、保育の請負が伸び、緊急雇用対策関係の仕事が増え、緑化整備、病害虫防除、治山事業及び調査業務において売上額が大幅に伸びて、森林造成事業は4億4千万円の売上額となりました。

しかし、組合員からの今年の受託事業は、8千5百万円の利用に止まりましたが、今年度推進した森林整備地域活動支援交付金制度は14団地の取り組みができ、この計画施設は次年度以降となり、今後が期待されることになりました。

以上のような事業が遂行できたことは、県並びに3市4町と公団、公社、県森連をはじめ組合員各位のご支援ご協力の賜で、このことについて厚くお礼申し上げます。

事業外では、美東支所事務所が老朽化し修理費が嵩み、借地料もかかるため、協議の結果、町の施設を借り移転しました。そして旧事務所は、解体し更地にして地主に返したため、その費用と資産処分で450万円の出費となりました。

計画に掲げた地区座談会は、秋に内16会場で森林整備地域活動支援交付金制度を中心に実施し有意義な会合となりました。

尚、剩余金処分については、経営安定を図るため内部留保を優先させて頂くことをお願いします。

3 森林のたより

平成15年度事業損益計画

(単位:千円)

科 目	計	指 導	販 売	購 買	利 用	金 融
I 事業総損益						
1 収 益	463,180	55	9,650	25,610	427,650	215
2 費 用	272,290	2,820	6,270	21,430	241,600	170
事業総利益	190,890	△ 2,765	3,380	4,180	186,050	45
II 事業管理費					運営の基本方針	
1 人 件 費	154,370					
2 旅費・交通費	830					
3 事 務 費	3,150					
4 業 務 費	2,980					
5 諸税負担金	13,050					
6 施 設 費	15,420					
7 雜 費	550					
事業管理費計	190,350					
事 業 利 益	540					
III 事業外損益	1,700					
経 常 利 益	2,240					
IV 特 別 損 益	△ 220					
税引前当期純利益	2,020					
法人税及び住民税額	808					
当 期 剰 余 金	1,212					
前 期 繰 越 剰 余 金	4,532					
当 期 未 決 分 剰 余 金	5,744					

運営の基本方針

森林は、国土の保全、水源かん養等の様々な公益的機能を有し、また、保健休養の場としての活用や快適な生活環境の保全など、住民の森林に対する要請は一段と高まり、これらに応える健全で多様な森林の整備を推進することが求められてきました。

一方、木材価格の低迷で、採算性は悪化、林業収入も低下するなど林業を巡る情勢は極めて厳しく、そのため森林所有者の林業への関心が急速に減退し、高齢化等により手入れが十分に行き届かない森林が増加してきたのでこの森林整備の推進が課題となりました。

そこで、昨年から始まつた森林整備地域活動支援交付金を活用し、適切な森林管理の施業を行うことにより、組合員と受委託事業を推進して、組合事業の拡大と反映に努めてまいります。また、長期的視点に立つた森林整備指針の策定や間伐を主体とした森林資源の質的充実と路網の整備を推進しなければなりません。本年度新たに始まつた緑の雇用担い手育成対策事業に取り組み森林整備の担い手として、技能職員を養成し雇用に結びつけます。

組合員の信頼と協力関係を強化するため、秋には、地区座談会を開催し、補助事業を積極的に導入して、組合経営の安定を図るため、森林造成事業のほか各種事業の拡充強化に努めて参ります。

今年も県並びに3市4町と公団、公社のご支援を仰ぎながら、決意を新たに組合員の期待に応えるため、役職員一丸となつて協力事業体の協力を得て、地域林業の振興に努めます。

地区座談会の開催

今年も九月三十日の美祢市厚保地区を始めとして十六会場で地区座談会を左記の日程で行う予定です。

組合よりは、補助事業の説明と昨年に続き森林整備支援交付金等の説明をしたいと思います。

組合員の皆様も日頃より組合に尋ねたいと思われていること、又、こんなことをしてもらいたいなどと言うような事があればその時に質問等をしていただきたいと思います。多數の参考のほどよろしくお願ひします。



(平成13年度座談会風景)

II 貸借対照表

(平成15年5月31日現在)

(単位: 円)

資産の部		負債の部	
流動資産合計	267,986,480	流動負債合計	51,239,467
固定資産		固定負債合計	73,729,275
有形固定資産合計	52,361,658	負債合計	124,968,742
無形固定資産合計	3,294,840		
外部出資合計	47,237,000		
その他の固定資産合計	2,443,441		
固定資産合計	105,336,939		
繰延資産	315,452		
資産合計	373,638,871		
資本の部			
		出資金	159,481,000
		剰余金合計	89,189,129
		資本合計	248,670,129
		負債及び資本合計	373,638,871

III 損益計算書

(平成14年6月1日～平成15年5月31日まで)

6044 ■ J. Am. Chem. Soc.

科 目	小 計	合 計	指 導	販 売	購 売	利 用	金 融
I 事業総損益							
1 収 益	561,290,081		1,163,400	16,293,528	23,919,419	519,701,177	212,55
2 費 用	348,926,543		2,824,825	14,362,058	19,699,467	311,862,748	177,44
事業総利益		212,363,538	△1,661,425	1,931,470	4,219,952	207,838,429	35,11

平成14年度剩余金処分案

(单位: 亩)

摘要	内訳	小計	合計
I 当期末処分剰余金			11,032,551
II 剰余金処分額			
1 法定準備金	当期剰余金の5分の1以上	1,500,000	
2 特別積立金 (うち目的積立)		5,000,000 (920,000)	
III 次期繰越剰余金		4,532,551	

脚注 1. 次期繰越剰余金中、教育情報資金は1,000,000円である。

2. 特別積立金のうち目的積立金の種類及び
積立基準等は次のとおりである。

積立基金等は次のとおりである

積立基準 3,891,475円

現在積立額 2,975,699 円

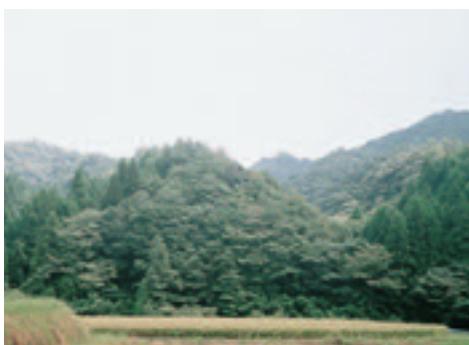
九五次二歲 二二二二二二二

人事移動と組織図

(平成15年8月1日現在)

表紙の写真（日ノ峰川の清流）

小野田市水道局が厚東川の源流がある秋芳町日峯地域内の厚東川支流で日ノ峰川沿い約7.4haをモデル水源かん養林として保全整備して、市民参加による森林見学や、自然とふれあう場とし水源と自然の水循環機能の大切さをアピールする山林。



県森連山口共販所木材市況（9月11日）

樹種	長さ	径級	中値
スギ	3m	14~16	12,000
		18~22	13,400~15,900
		24以上	14,300
	4m	13~16	13,600
		18~22	17,400
		24~28	15,600
		30以上	13,500~18,900
ヒノキ	3m	11~12	8,100
		13	15,500
		14~16	29,900
		18~22	30,300
	4m	13~16	29,600
		18~22	26,600
		24~28	25,000
マツ	4m	14~16 18~22	曲 曲 10,000 10,000

編集後記

2003.9
vol.8

今年の夏は、記録的な降雨で7月には美祢市で家屋倒壊という惨事まで起きました。

山は今からが旬、暑い夏の下刈りも終り、間伐、枝打、新植の準備と山にとっては最盛期になります。最近は木材価格の低迷により「里山づくり」で竹炭、つる細工、草木染等が騒がれていますが、やはり山は木が命です。昔のように木をふんだんに使った生活に戻したいものです。



カルスト森林組合

〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分418番1
TEL0837-52-3332 FAX0837-52-2587